



アンコールワットから昇る神秘的な日の出(イター・玖)

旅行期間	2024年12月29日(日)~2025年1月3日(金) ※日本との時差-2時間 日の出/日没時刻(シェムリアップ):6:25 / 17:45頃	
旅行代金	2名様1室利用(お一人様) 498,000円 ※1名様1室追加代金48,000円(4泊) ※ビジネスクラスをご希望の方はツアー申込みと同時にご相談下さい	募集人員 20名様 (最少催行人員10名様)
宿泊ホテル	シェムリアップ(4連泊):ロイヤル・クラウン・ホテル&スパ(洋室(ツイン))	
国際線利用のための諸経費	59,270円(7/19現在) 燃油サーチャージ43,910円、成田空港施設使用料・保安料3,160円、国際観光旅客税1,000円、現地空港諸税・航空会社諸費用計11,200円 ※別途、カンボジア査証料・30米ドルをシェムリアップ空港にて米ドル現金でお支払いください。	
1	朝 : 成田空港7:30集合・9:30発、ベトナム航空にて空路、ベトナム・ハノイ空港へ午後:ハノイ空港で飛行機を乗り換え、アンコールワットお膝元の都市、カンボジア・シェムリアップへ 夕刻:シェムリアップ空港着。空港にて各自、カンボジア到着ビザを取得し入国。日本語ガイドと合流し、専用車でホテルへ チェックイン後、夕食 食事:朝・昼・夕〇(シェムリアップ(泊))	
2	午前:世界遺産アンコールワット遺跡見学 午後:パイオン寺院等アンコールトム、タ・プローム見学 夕刻:夕食は市内レストランにて、伝統の踊り「アプサラ(天女)」を観ながら 食事:朝〇・昼・夕〇(シェムリアップ(泊))	
3	終日:[伝統の森]訪問(織り・染めの工程の見学、染めワークショップ(シルクの大判ハンカチ一枚・終了後お持ち帰り)、クメール伝統的家屋見学 等)、隣接の小学校訪問(予定) 昼・夕食は伝統の森にて 食事:朝〇・昼〇・夕〇(シェムリアップ(泊))	
4	早朝:アンコールワットに昇る「初日の出」観賞(天候により見られない場合があります) 引き続き、近くの市場にて、朝の「B級グルメ」にご案内 終了後、ホテルに戻り朝食 午前~午後:CMAC地雷博物館、ベンメリア遺跡、バンテアイ・スレイ遺跡見学、ヤシ砂糖で有名なブラダック村訪問 夜 :市内レストランにて夕食後、トゥクトゥクに乗りして、多くの人でにぎわうナイトマーケットにご案内 食事:朝〇・昼〇・夕〇(シェムリアップ(泊))	
5	午前:東南アジア最大の湖・トレンサップ湖(ポートクルーズ観光、水上集落訪問) 午後:キングフィールド(ワット・トメイ寺院)見学、スナーダイ・クマエ児童養護施設(孤児院)訪問 夕刻:軽い夕食を取り、ホテルをレイト・チェックアウト後、シェムリアップ空港へ 夜 :ベトナム航空にて空路、ベトナム・ホーチミン空港へ 深夜:飛行機を乗り換え、成田空港へ 食事:朝〇・昼〇・夕〇(軽食)[機中泊]	
6	朝 :7:45頃、成田空港着予定・解散 食事:朝〇・昼・夕〇(タ)	

# アンコールワットで「初日の出」を迎えます! 地元の孤児院と素朴な村も訪問! 『織り』のワークショップ開催!

## 【織りを訪ねる旅】カンボジア〜クメール 伝統織物とアンコール遺跡群を訪ねる 6日間

生活クラブ  
スタッフ  
提案の旅  
伊藤 望 企画

日本語  
ガイド付!  
イヤホン  
ガイド付

長い内戦により多くのものが失われてしまったカンボジア。フランスからの独立前までは黄金の糸を使った精緻な絹織(かすり)が作られていました。かつて京都の友禅職人だった故・森本喜久男氏は、内戦によりほぼ消滅してしまったこの「クメール織り」の復興を進めてきました。森本氏が設立した「クメール伝統織物研究所」はアンコール遺跡のある町シェムリアップ郊外に「織り」の村「伝統の森」を作り、伝統的な天然染めによるクメール織りの復興を進めてきました。失われたつづある技術の伝承だけでなく、かつて行なわれていたように素材となる木を植え、染色用の木々を育て、森を作り、そこで働く女性や家族の自立もめざしています。森本氏の死去とコロナ禍を乗り越え、今も多くの家族が織りを続けながら暮らしています。本ツアーはアンコール遺跡群を訪ね、クメール伝統織物に触れ、カンボジアで精一杯生きている人たちと出会う旅です! 織物にあまり関心のない方でも安心してご参加いただけます。



有名なアンコールトムの「バフオン寺院」



アンコールワットの壁面を飾る女神のレリーフ

### ツアーポイント

◆アンコール遺跡群の見学: アンコールワット、アンコールトム(パイオン寺院等)、タ・プローム等のアンコール遺跡群の見学。「東洋のモナリザ」で有名なレリーフ(天女のレリーフ)が美しいバンテアイ・スレイ、さらに通常のツアーではあまり行きませんが非常に評価の高い遺跡であるベンメリアも見学します。そして本ツアーのメインイベントとして、評価の高い遺跡である初日の出(観賞)をします! (天候により見られない場合があります)



アンコールワットでも特に神秘的なヴィシシュス神像



バンテアイ・スレイ遺跡のレリーフ



樹の根に浸食されるタ・プローム遺跡

◆クメール伝統織りを訪ねる: 故・森本氏が進めてきた織りの村「伝統の森」を訪ね、染め用の原料の育成から絹糸の作成・染め、織りまでの全行程を見学します。貴重なアンティークの古布も見学予定です。またシルクの大判ハンカチを草木染めで染める「染色のワークショップ」も行ないます。初心者でも楽しんでできる内容で、出来たものは各自お持ち帰りいただけます。「伝統の森」はスタッフやその家族を含む総勢100名以上(2023年現在)が暮らす村で、カンボジアの素朴な村の暮らしをかいま見ることができます。ゼネラルマネージャーの若本みどりさんに案内をお願いしています。また隣接する小学校も見学予定です。



「伝統の森」にて

◆スナーダイ・クマエ児童養護施設(孤児院)訪問: シェムリアップにある本施設は、1980年に難民として日本に渡ったメア・ストミーさんが身寄りのない子どもたちや貧困家庭の子どもたちに生活の場を与え、将来の自立のために十分な教育の機会を提供したいという目的で設立されました。訪問して子供たちとの交流を行ないます。

◆内戦の爪痕を訪れる: シェムリアップにもある「キングフィールド」と地雷博物館を訪ねます。その他アンコール国立博物館等も見学します。

◆東南アジア最大の湖「トレンサップ湖」: 琵琶湖の約4倍(乾季)~24倍(雨季)の湖をボートクルーズ観光し、有名な水上集落を訪ねます。

添乗員/なし(添乗員資格を持つ「旅の案内人」が成田出発から帰着まで同行します)  
食事/朝食4回、昼食4回、夕食5回 交通機関/ベトナム航空

日本国籍者の観光目的のカンボジア入国には査証の取得が必要です。ただし入国時パスポートの残存有効期限が6ヶ月以上あればシェムリアップ空港到着時に申請して取得することができます。取得費用は30米ドル(米・米ドル現金、金額は随時変更される場合があります)で、事前手続きや写真等は特に必要ありません。

「旅の案内人」相葉康之さん

アジア民俗造形学会理事。10数年に渡りアジア・中東・南米などに織物を探しに行った経験により現在、アジア民俗造形学会にて染織担当理事をしています。織物・世界遺産・少数民族に詳しく、海外渡航距離約200回・35ヶ国以上。カンボジア渡航歴も約30回。添乗員資格(総合旅程管理主任者)所持。元・生活クラブ生協職員。

カンボジアが平和になりアンコール遺跡群を訪れる観光客は年々増加しています。「森林にひっそりとたたずむ遺跡」というのが良さのひとつですが、その雰囲気がかんたんに感じにくくなっています。さらに観光客の増加により入場できない場所も増えつつあり、今後さらに増えていくと思われますのでなるべく早めれることをお勧めしています。

都市(12月)	平均最高気温	平均最低気温	月間降雨日数	月間平均降水量
シェムリアップ	32℃	20℃	1日	6mm
東京	12℃	4℃	5日	46mm